

今月の経済動向 (2019年5月)

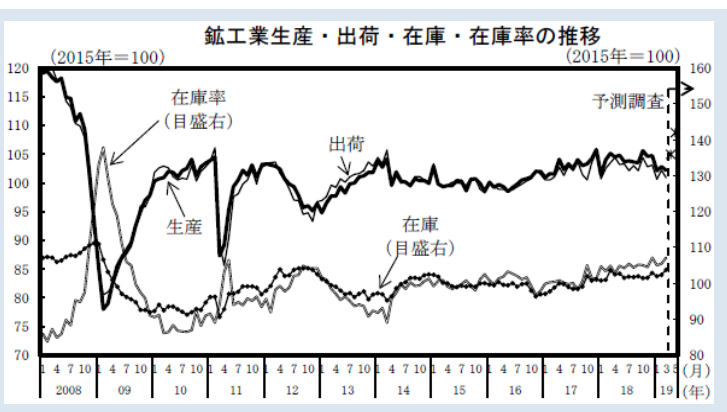
● 月例経済報告 (5/24)

<p>基調判断</p>	<p>(5月) 景気は、<u>輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。</u> 当面、一部に弱さが残るものの、<u>雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。</u>ただし、<u>通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</u></p> <p>(4月) 景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、<u>緩やかに回復している。</u> 当面、一部に弱さが残るものの、<u>雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。</u>ただし、<u>通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</u></p>	
<p>個人消費</p>	<p>(5月) 持ち直している。</p> <p>(4月) 持ち直している。</p>	<p>(2011年=100) 消費総合指数と実質総雇用者所得</p>
<p>設備投資</p>	<p>(5月) <u>このところ機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。</u></p> <p>(4月) 増加している。</p>	<p>(2000年=100) 製造業・非製造業の設備投資 (実質)</p>
<p>住宅建設</p>	<p>(5月) おおむね横ばいとなっている。</p> <p>(4月) おおむね横ばいとなっている。</p>	<p>住宅着工戸数 (季節調整値)</p> <p>(年率: 万戸)</p>
<p>雇用情勢</p>	<p>(5月) 着実に改善している。</p> <p>(4月) 着実に改善している。</p>	<p>雇用者数、就業者数の推移</p> <p>(万人)</p>

生産

(5月) このところ弱含んでいる。

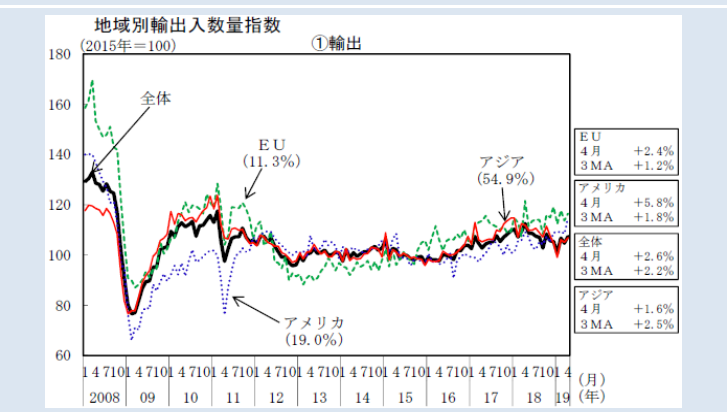
(4月) 一部に弱さがみられ、おおむね横ばいとなっている。



輸出

(5月) 弱含んでいる。

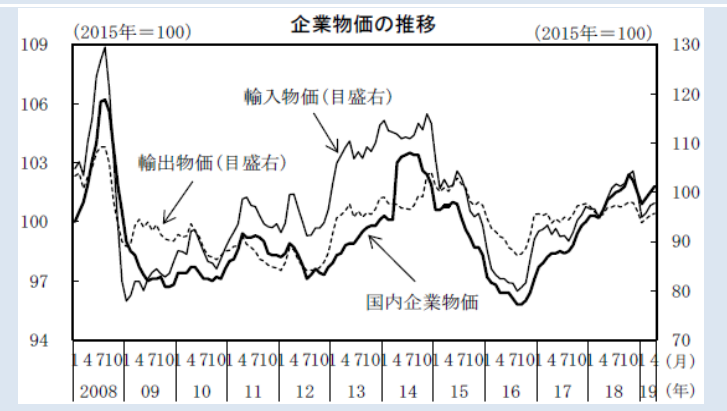
(4月) このところ弱含んでいる。



国内企業物価

(5月) このところ緩やかに上昇している。

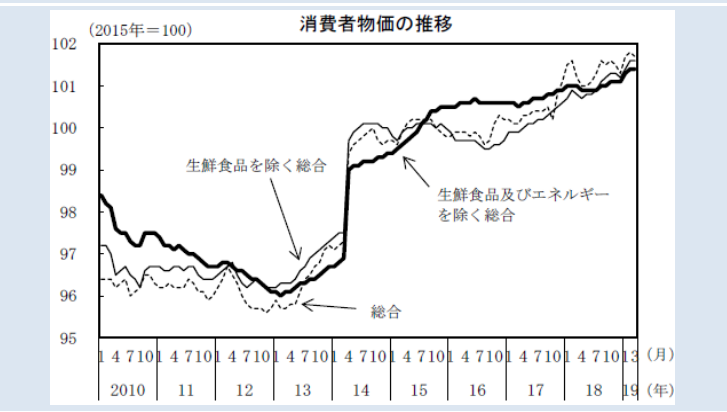
(4月) このところ緩やかに上昇している。



消費者物価

(5月) このところ緩やかに上昇している。

(4月) このところ緩やかに上昇している。



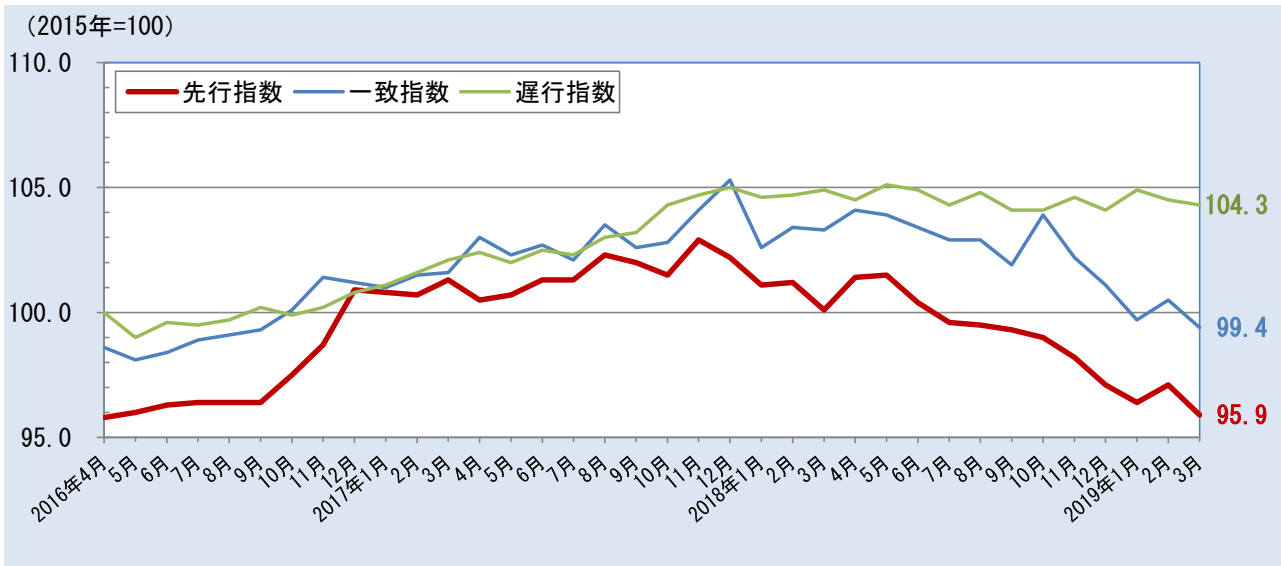
海外経済

(5月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

(4月) 世界の景気は、アジア及びヨーロッパの中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

● 景気動向指数（2019年3月・改訂値）

2019年3月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.1ポイント低い99.4ポイントとなり、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は前月より0.56ポイント低い99.9ポイントとなり、5か月連続の下降となった。7か月後方移動平均は前月より0.50ポイント低い101.2ポイントとなり、5か月連続の下降となった。
 CI先行指数は前月より1.2ポイント低い95.9ポイント、運行指数は前月より0.2ポイント低い104.3ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「悪化を示している」に下方修正した。



[景気動向指数：内閣府](#)